



DTX Studio™ Clinic

バージョン 4.3

取扱説明書

目次

はじめに	6
免責事項	6
デバイスの概要	6
使用目的	6
用途/適応	6
対象ユーザーおよび対象患者のターゲットグループ	6
他のデバイスとの必要な互換性	7
口腔内センサー	7
口腔内カメラ	7
口腔内スキャン	7
ソフトウェア	7
測定機能を備えたデバイス	7
禁忌	7
サイバーセキュリティ	7
サイバーセキュリティイベントの対処法	8
廃止と廃棄	8
相互運用性	8
耐用年数	8
パフォーマンスの要件および制限	8
臨床的利点と望ましくない副作用	9
重大な事故に関する通知	9
施設およびトレーニング	9
医療従事者用	9
システム要件	9
ソフトウェアのインストール	9
取り扱い手順	9
注意事項および警告	10
注意事項	10
警告	11
システム要件	13
開始	14
ソフトウェアの起動	14
ソフトウェアの終了	14
DTX Studio™ Homeの概要	14
通知領域の解説	15
設定の調整	15

デフォルトの DTX Studio™ホーム設定の調整	15
設定のインポートまたはエクスポート	15
言語と日付/時刻形式の変更	15
DICOM準拠の設定の調整	16
デフォルトのイメージフィルタの設定	16
口腔内画像の自動回転の無効化	16
レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化	16
DTX Studio™ Coreに接続する	17
アクションウィンドウへのアプリケーションの追加	17
プラクティスマネージメントシステム (PMS) 統合の有効化	18
TWAIN対応デバイスを追加する	18
他社製デバイスの画像を検出するための直接フォルダを構成する	18
デフォルトのエクスポートフォルダの設定	19
DTX Studio™ Clinicを閉じるときの自動保存を有効にする	19
学習リソースとサポートへの問い合わせ	19
すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示	19
テクニカルサポートへの問い合わせ	19
主な機能の概要	20
患者記録	21
新しい患者記録の作成	21
患者記録の管理	21
プライバシーオプションの管理	21
患者記録の検索とソート	22
患者リストのソート	22
患者記録の検索	22
患者記録のエクスポート	22
データの管理	23
データのインポート	23
画像を他社製デバイスからインポートする	23
画像とファイルを患者記録またはDTX Studio™ Clinicヘドラッグ・アンド・ドロップする	23
DTX Studio™ Clinic内からデータをインポートする	23
3D X線データのインポート	23
口腔内スキャンのインポート	24
フェイススキャンのインポート	24
2D画像のインポート	24
クリップボードからのインポート	24
3Shape Dental Desktopソフトウェアからのインポート	25
手術計画のインポート	25
データの共有	25

DTX Studio™ Goを介した患者データの共有	25
3D症例プレゼンテーションの共有	26
2D画像を電子メールで共有するか、他社製アプリケーションに転送する	26
データのエクスポート	27
患者記録のエクスポート	27
患者データのエクスポート	27
インプラント計画をX-Guide™にエクスポートする	27
スキャンのリクエスト	28
スキャンのスケジュール	28
スキャンリクエストの検索とソート	28
スキャンリクエストリストのソート	28
スキャンリクエストの検索	28
スキャンリクエストの管理	29
スキャンワークフロー	29
スキャンワークフローの定義	29
スキャンワークフローの適用	29
スキャンの実行	30
予定されているスキャンの実行	30
即時スキャンの実行	30
口腔内センサーまたはPSPデバイスによるガイドあり取得	30
口腔内センサーまたはPSPデバイスによるガイドなし取得	31
口腔内カメラによるガイドあり画像取得	32
口腔内カメラによるガイドなし画像取得	32
口腔内スキャン	32
3Shape TRIOS®スキャナー	32
DEXIS™スキャナーおよびMeditスキャナー	33
口腔内のスキャンデータの取得	33
スキャン症例を再度開く	33
DEXIS™ IS ScanFlowスキャンの再開	33
高度なScanFlow機能の有効化	33
診断または治療計画	34
Clinicモジュールの閲覧	34
患者メニューの使用	35
メニューオプション	35
操作	35
歯列チャート	35
歯式チャートの編集	36
診断データ	36
3Dおよび口腔内スキャンビューアの背景を設定する	36

デフォルトの画像ズームレベルの設定	37
ビューア の操作	37
ワークスペース	38
ワークスペースのカスタマイズ	41
SmartFocus™で関連する歯の情報をすべて表示する	41
SmartLayout™で表示をカスタマイズする	42
3D X線データと口腔内スキャンの合成	42
サムネイルバーから画像を配置する	42
診断所見の追加	42
スマートパネル歯式チャート	43
骨髄値の調整	44
リスライスの調整	44
3Dボリュームのクリップ	44
ワークスペースで歯科用口腔内カメラを使用する	44
臨床写真ワークスペースで写真を編集する	44
インプラントワークスペースでインプラントオブジェクトを作成・変更する	44
ツール	45
レポート	49
レポートの作成	49
カスタムのプラクティスロゴの追加	50
DTX Studio™ Implantを開く	50
DTX Studio™ ClinicとDTX Studio™ Implantを接続する	50
DTX Studio™ Implantを起動する	50
オーダーとパートナーの共同編集	51
手術計画、または補綴修復のオーダー	51
パートナーとの接続のセットアップ	51
パートナーからの直接オーダー	51
パートナーの症例の表示または新しいデータの追加	52

はじめに

免責事項

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケア（以下「当社」とする）の取扱説明書と推奨事項に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせる推奨されない方法で使用した場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示/黙示を問わず無効になります。ノーベルバイオケアの製品を使用する際には、いかなる製品についても、それが特定の患者およびその状況に適合するかどうかを判断しなければなりません。ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、専門的な判断または治療におけるエラーが原因となって生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的損害、間接的損害、懲罰的損害、またはその他のいかなる損害の責任も明示/黙示を問わず負わないものとします。ユーザーは、この製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。ユーザーは、不明な点がある場合には、当社に連絡する必要があります。この製品の使用はユーザーの管理下にあることから、製品使用はユーザーの責任です。当社は、この製品の適用が原因で生じる損害に対して一切の責任を負いません。

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。ご了承ください。

DTX Studio Clinicをご使用になる前に、取扱説明書をお読みになり、今後必要になるときに備えて保管しておいてください。本書で取り上げる情報は、すぐに使えるように簡潔に示されています。

デバイスの概要

DTX Studio Clinicは、歯科状態、頭蓋顎顔面状態、および関連する状態の治療を目的として2Dおよび3Dの画像データをタイムリーに分析するために使用する、歯科医師向けのソフトウェアインターフェースです。DTX Studio Clinicでは、さまざまなデバイス（口内法X線撮影装置、（CB）CTスキャナー、口腔内スキャナー、口腔内カメラおよび口腔外カメラなど）からの画像データが表示され、処理されます。

使用目的

このソフトウェアは、歯科術式と頭蓋顎顔面術式における診断プロセスと治療計画をサポートすることを目的としています。

用途/適応

DTX Studio Clinicは、歯牙および頭蓋顎顔面の画像情報を取得、管理、転送、解析するためのソフトウェアプログラムです。疑わしい歯科所見の検出をサポートし、歯科修復ソリューションのデザイン情報を提供するために使用できます。

さまざまなソースからのデジタル画像が表示されて画質が高められ、診断プロセスおよび治療計画がサポートされます。これらの画像は、システム内に保存したり、異なる場所にある複数台のコンピュータシステム間でやり取りしたりすることができます。

対象ユーザーおよび対象患者のターゲットグループ

DTX Studio Clinicは、学際的治療チームによって使用され、歯科治療、頭蓋顎顔面治療または関連する治療を受ける患者の治療をサポートするために使用されます。

他のデバイスとの必要な互換性

DTX Studioエコシステムは、最新リリースを含む、最も使用されているオペレーティングシステムであるWindowsおよびMacと互換性があります。

DTX Studio Clinicは、他の医療デバイスと接続されており、DTX Studio Clinicの旧バージョンと互換性があります。

口腔内センサー

DEXIS™ Titanium、DEXIS Platinum、GXS-700™、DEXIS IXS™、Gendex™ GXS-700™。

口腔内カメラ

DEXIS DexCAM™ 4 HD、DEXIS DexCAM 3、DEXIS DexCAM 4、Gendex GXC-300™、KaVo DIAGNOcam™ Vision Full HD、KaVo DIAGNOcam™、CariVu™、KaVo ERGOcam™ One。

口腔内スキャン

MEDIT™ i500/X 500やMEDIT i700/X 700口腔内スキャナーまたは他の互換性のあるモデルをサポートするMEDIT Linkソフトウェア*およびMEDIT Scan for DTX Studio*との互換性。

CS 3600/DEXIS IS 3600、CS 3700/DEXIS IS 3700、CS 3800/DEXIS IS 3800の口腔内スキャナーや他の互換性のあるモデルをサポートするDEXIS™ IS ScanFlow*との互換性。

ソフトウェア

DTX Studio Core*、DTX Studio Implant、DTX Studio Go、DTX Studio Lab*、CyberMed OnDemand3D™*、Osteoid（以前のAnatomage）InVivo™。

*Windowsオペレーティングシステムでのみ使用可能な製品です。

ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくないと、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

測定機能を備えたデバイス

測定の正確度と精度は、スキャナーデバイスの取扱説明書に従って取得された（コーンビーム）CTスキャンの入力に基づく線形測定では0.1 mm、角度測定では0.1度であり、ボクセルサイズは0.5 mm x 0.5 mm x 0.5 mmです。

DTX Studio Clinicでは、値がユーザー選択のポイントに基づいて小数点以下1桁に四捨五入されて報告されます。

禁忌

N/A

サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティの脅威から業務を守ることは、メーカーである弊社とヘルスケアプロバイダーであるお客様との共同責任です。ノーベルバイオケアは、そのような脅威からソフトウェアが守られるよう注意を払っています。

DTX Studio Clinicを使用するコンピュータには、ファイアウォールを正しく構成したうえで、最新かつ有効なウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることが推奨されます。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

DTX Studio Coreの環境では、https経由でDTX Studio Coreと接続することが推奨されます。この接続の設定方法は、DTX Studio Coreガイドラインを参照してください。

設定でログの監査を有効にして、これらのログが不正アクセスから保護されるようにすることが推奨されます。これを怠ると、悪意のあるアクティビティが検知できない可能性があります。

ソフトウェアへのアクセスは二段階認証を使用し、コンピュータを離れるときは、必ずロックしてください。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

必ずオフィスのネットワークが不正アクセスから保護され、ビジターネットワークから隔離されるようにしてください。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

データの紛失の原因となり得る予期しないシステムエラーや悪意のあるイベントからすばやく回復できるよう、患者データを定期的にバックアップするようにしてください。

管理者権限なしでDTX Studio Clinicを起動することが推奨されます。これを怠ると、他社製の悪意のある実行可能ファイルが意図せず起動する可能性があります。

DTX Studio Clinicを入手可能な最新のソフトウェアバージョンに常に更新することが推奨されます。これを怠ると、不正なアクセスにつながる可能性があります。

インストール時のバックアップ、ファイアウォールおよびセキュリティの設定に関する技術的な詳細については、DTX Studio Clinicインストールガイドを参照してください。

本ソフトウェアのソフトウェア部品表 (SBOM) はご要望に応じて提供しています。入手をご希望の方は、カスタマーサポート (www.dtxstudio.com/en-int/support) にお問い合わせください。

サイバーセキュリティイベントの対処法

不正アクセスや悪意のあるソフトウェアによりシステムが侵害された可能性がある場合は、製品の動作やパフォーマンスに異常がみられる場合があります。このような場合は、ただちにカスタマーサポート (www.dtxstudio.com/en-int/support) にご連絡ください。

廃止と廃棄

コンピュータでのDTX Studio Clinicの使用を中止する場合や、DTX Studio Clinicがインストールされているコンピュータを廃棄する場合は、以下の手順に従ってください。

- 重要な情報を紛失しないように、データ保護およびデータプライバシーに関する現地の法律と規制に従って、本アプリにある必要なすべてのデータをバックアップしておいてください。
- 本アプリのアンインストール：DTX Studio Clinicおよびそこに保存されたデータへの不正アクセスを防止するために、オペレーティングシステムプロバイダーの指示に従ってデバイスから本アプリをアンインストールしてください。

相互運用性

DTX Studio Clinicは、以下の製品と相互運用可能です。

- DTX Studio Core
- DTX Studio Implant
- DTX Studio Go
- DTX Studio Lab
- CyberMed OnDemand3D
- MEDIT Scan for DTX Studio
- Medit Link
- DEXIS IS ScanFlow

耐用年数

ソフトウェアの場合、耐用年数は3年です。サポートされているオペレーティングシステムで使用すると、用途に応じてソフトウェアのパフォーマンスが維持されます。

パフォーマンスの要件および制限

DTX Studio Clinicは、承認されているオペレーティングシステムでのみ使用してください。詳細については、取扱説明書の「[システム要件](#)」を参照してください。

臨床的利点と望ましくない副作用

DTX Studio Clinicは、歯科治療または頭蓋顎顔面治療のコンポーネントです。歯科医は、このソフトウェアが診断および治療計画のプロセスをサポートすることを期待できます。

DTX Studio Clinicでは、望ましくない副作用は確認されていません。

重大な事故に関する通知

このデバイスの使用中、または使用の結果として、重大な事故が発生した場合は、製造元および各国当局に報告してください。重大な事故を報告するための、このデバイスの製造元の連絡先は以下のとおりです。

Nobel Biocare AB

<https://www.nobelbiocare.com/complaint-form>

施設およびトレーニング

歯科医は、インプラント、補綴物、および関連するソフトウェアの経験の有無（経験値）にかかわらず、新しい治療法に着手する前には必ず、そのための研修を受けることが強く推奨されます。

ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

ノーベルバイオケアは、歯科医師が知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースを提供しています。

詳細については、tw.dtxstudio.comのトレーニングサイトをご覧ください。

医療従事者用

DTX Studio Clinicは医療従事者専用です。

システム要件

ソフトウェアのインストールを開始する前に、[システム要件](#)を確認してください。最小要件や推奨要件に関する情報を入手するには、テクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアの新しいバージョンでは、ハードウェアまたはオペレーティングシステムによっては、より高い要件が必要になる場合があります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール方法については、[製品] インストールガイドを確認してください。本文書はユーザー文書ライブラリ（ifu.dtxstudio.com）からダウンロードできます。何か問題が発生した場合やサポートが必要な場合は、担当の技術者またはカスタマーサポート（support@dtxstudio.com）にご連絡ください。

取り扱い手順

ソフトウェアの使用方法の詳細については、この取扱説明書の詳細な手順を参照してください。

注意事項および警告

注意事項



注意事項

新しい治療法やデバイスを使用する際は、事前にトレーニングを受けておくことをお勧めします。

新しいデバイスや治療法を初めて使用する際は、その新しいデバイスの使用法や治療法に関して経験が豊富な歯科医とともに治療を行うことで、可能性のある合併症を防ぐことができます。

より正確にスキャンするために、スキャンプロセス中は患者の動きが最小限に抑えられていることを確認する必要があります。

ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

ソフトウェアで提供される診断および計画のツールを使用するときは、特に以下の点に注意を払うことが重要です。

- 対象となる適応症が正確であること（可視化、測定、重要な構造、インポートされたデータ、インプラント計画）。
- 自動化された機能の結果が正確であること（デンタルスキャンのアライメント、穴の自動充填、気道セグメンテーション、デンタルカーブ）。
- 患者IDが正確であること（PMSシステムを介して患者記録を開いた後、およびスキャンリクエストを作成するとき）。
- データが古いものでなく、最新であること。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

画像キャプチャデバイスを使用する場合は、特に注意することをお勧めします。誤った使い方をすると、診断および計画または治療の遅延や再スケジュールにつながったり、患者に不必要な追加の放射線被ばくを与えたりするおそれがあります。

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的に使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

特に、割り当てられた歯番号とビューアの方角のマーキングに注意を払うことをお勧めします。割り当てられた歯番号や患者の方角が誤っていると、患者に対する治療が正しく行われず可能性があります。

ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくないと、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

作成したインプラント計画、インプラントの相互の配置、および他の重要な解剖学的構造に対するインプラントの配置に特別な注意を払うことをお勧めします。さらに、エクスポート用に適切なインプラント計画が選択されていることと、エクスポートしたインプラント計画またはサージカルガイドにインプラント手術に必要な情報がすべて含まれていることを必ず確認してください。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

警告

次の警告がソフトウェアに表示されます。



DICOMファイルでの名前は、患者名とは異なります。

誤ったデータを使用して患者モデルを作成するリスクを軽減するには、患者名を確認し、患者名と使用されるDICOMセットの名前が一致するかどうかを確認してください。

現在の診断に3D X線データを追加できません。

現在の診断には、手術計画にリンクされた3D X線データが含まれています。新しい診断を作成して3Dスキャンをインポートしてください。

現在の診断に手術計画を追加できません。

現在の診断に含められた3D X線データに基づいて、手術計画を選択してください。

8ビットで画像をエクスポートした場合は、忠実性に欠ける可能性があります。

画質を維持するために、画像を別の形式でエクスポートすることをお勧めします。

患者を放射線にさらさないでください。

デバイスを準備できませんでした。この状態では、デバイスはX線照射を受け取れません。デバイスを再接続するか、再起動してもう一度試してください。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

次の照射用のセンサーを準備しています。お待ちください。

デバイスは現在再準備中です。この状態では、デバイスはX線照射を受け取れません。

デバイスのスキャン・リクエスト・パラメータを確認してください。

患者をスキャンする前に、デバイスのパラメータを確認してください。

実際のインプラントの形状を使用せずに治療計画を変更することをお勧めできません。

実際の形状は、DTX Studio Goからダウンロードできます。

画像が反転されています。

この警告は、ユーザーが画像を手動で（水平または垂直に）反転した場合に表示されます。

画像がクロップされています。

この警告は、ユーザーが画像を手動でクロップした場合に表示されます。

口腔内画像の自動ソート（MagicAssist™）は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

適切な条件から外れる患者の画像にMagicAssist™を使用するリスクを減らすため。

DTX Studio ClinicとX-Guideソフトウェアとの間で、データの表示（ビューアの方角、オブジェクトの色など）および警告の相違が存在する可能性があることに注意してください。

サポート対象外のインプラントです。

DTX Studio Clinicでサポートされているのは、X-Guide™にエクスポートするインプラントの選択のみです。サポート対象外のインプラントは、X-Guide™ファイルに含まれません。

インプラントが注釈付きの解剖学的構造に近すぎます。

計画したインプラントが、注釈付きの解剖学的構造（注釈付きの神経など）に近すぎます。インプラントが解剖学的構造に当たっていないことを確認してください。

インプラント同士がぶつかっています。

一部のインプラントが互いにぶつかっています。これにより、術中に問題が発生するおそれがあります。治療計画の見直しをお勧めします。



患者記録を同期しています。今アプリケーションを閉じると、最新の変更はDTX Studio Coreに保存されません。

患者記録が更新され、DTX Studio Coreへの同期はまだ完了していません。まず同期が完了していなければ、クリニックの他のユーザーが患者に関する最新の変更を閲覧することはできません。

DTX Studio Clinicでは、技術的な警告（CTデータの矛盾など）がいくつか表示されます。

より正確にスキャンするために、ソフトウェアの指示と技術的な通知に従うことを強くお勧めします。

口腔内画像の自動ソート（MagicAssist™）は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

SUPERSEDED

システム要件

オペレーティングシステム¹	デスクトップ版またはノートブック版のWindows® 11または10 64ビット（ProおよびEnterpriseエディション） iMacのmacOS Sonoma（14）、Ventura（13）またはMonterey（12）（Intel®ベースのMacおよびM1 Chip以上を搭載したApple Silicon Mac）、Mac Mini、Mac Pro、MacBook Pro、MacBook Airデバイス。 ²
---------------------------------	--

基本的なセットアップ（2D画像のみ）

推奨されるセットアップ（2Dおよび3D画像においてパフォーマンスが向上する）

CPU	デュアルコアまたはクアッドコア	2.8 GHzクアッドコア（インテルCore i5またはi7）
RAM	4 GB	8 GB以上
グラフィックカード	エントリーレベルの専用アドインカードまたはインテル内蔵グラフィックス。第9世代Intelグラフィックス内蔵の第6世代インテルCPU以上がサポートされています。OpenGL® 3.3のサポートが必要です ³ 。	最適な3Dサポート（OpenGL 3.3）と2 GB VRAM以上を備えた専用アドイングラフィックカード。4Kディスプレイの場合は、4 GB以上のVRAMを推奨します。
ディスク容量	インストール用の10 GBの空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinicの一般的な2D患者データセットは約10 MBです。	インストール用の10 GBの空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinicの一般的な3D患者データセットは約250 MBです。
ネットワーク	アップロード速度が3 Mbps、ダウンロード速度が30 Mbpsのプロードバンドインターネット接続。 DTX Studio Clinicから外部のサービスやアプリケーションに接続するには、常にインターネットに接続しておくことが推奨されます。それができない場合、DTX Studio Clinicへのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも14日に1回接続する必要があります。インターネットへの接続が再度確立すると、DTX Studio Clinicへのアクセスは回復します。	
ハードディスク	Macデバイスの場合は、APFS、HFS+またはHFSJの大文字と小文字を区別しないドライブにのみDTX Studio Clinicをインストールしてください。	
モニター	フルHD（1,920×1,080）以上。画面のスケーリングが行われている場合、情報が欠落して見えることがあります。このため、同等のスケーリング解像度を1,920x1,080未満にすべきではありません。	
LAN	DTX Studio ClinicをDTX Studio Coreと一緒にインストールする場合は、ローカルのギガビットネットワークをお勧めします。	

1 確認されているバグや脆弱性を修正し、ユーザーとコンピュータシステムの安全性を高めるため、利用可能な最新版のオペレーティングシステム（OS）をインストールすることが強く推奨されます。

2 一部のMacBook Air®およびMac® Mini構成のグラフィックカードには、ボリューム・レンダリングに関する制限があります。低解像度のボリューム・レンダリングを選択することを検討してください。

3 最高のパフォーマンスを得るには、それぞれのモデルにインテルから入手可能な最新の統合型グラフィックカードのドライバを常に使用してください。グラフィックカードのOpenGL®バージョンを確認するには、<http://realtech-vr.com/admin/glview>をご覧ください。

開始

ソフトウェアの起動

1. DTX Studio Clinicを開きます。
 - Windowsでは、デスクトップのショートカット・アイコン  をダブルクリックします。
 - macOSでは、Finderアプリケーション・フォルダまたはDock内のショートカット・アイコン  をクリックします。
2. ユーザーを選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [\[ログイン\]](#)をクリックします。

注記

DTX Studio Goに2要素認証を設定すると、30日ごとに6桁の確認コードを入力してログインする必要があります。

DTX Studio Clinicは、常時インターネットに接続しておく必要があります。それができない場合、DTX Studio Clinicへのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも14日に1回接続する必要があります。

ソフトウェアの終了

アクティブなDTX Studio Clinicとスキャン・モジュール*のインスタンスをすべて閉じてください。
[\[メニュー\]](#)をクリックし、[\[アプリケーションを閉じる\]](#)をクリックしてください。

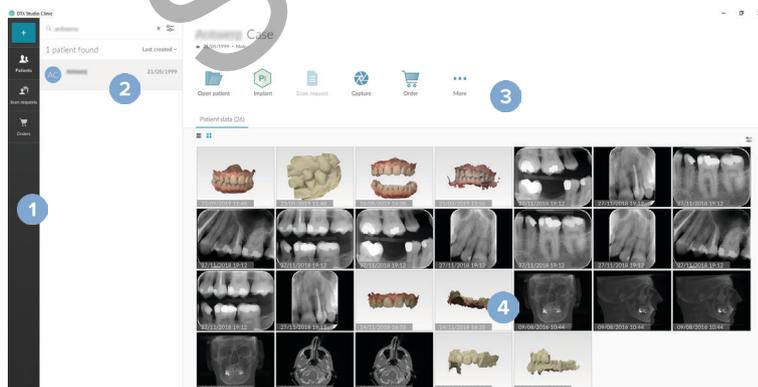
注記

終了ボタン  を使用すると、ソフトウェアはバックグラウンドで実行されるため、データを同期することができ、DTX Studio Home/DTX Studio Clinicを再度開いたときの反応が早くなります。

*モジュールはライセンス契約されている可能性があります。

DTX Studio™ Homeの概要

DTX Studio Homeは、患者記録、スキャンリクエスト、オーダー、および一般設定を選択し管理するための作業領域です。



- 1 サイドバー
- 2 患者リスト
- 3 アクション・ウィンドウ
- 4 詳細ウィンドウ

通知領域の解説

通知領域の  アイコンから、DTX Studio Homeの設定 () と以下の機能にアクセスできます。

- **[通知]**：アップロードしている患者の記録またはDTX Studio Coreと同期されている患者の記録が表示されます。
- **[DTX]**：DTX Studio Core ()、DTX Studio Go ()、照射線量レポート*、QuickPrescribe*、スキャンセンター*、またはリンクされている他社製アプリケーションにすばやくアクセスできます。
- **[デバイス]**：他社製デバイスの画像をインポートするための直接フォルダを一覧表示し、取得デバイスとそのステータス (USBまたはTWAIN経由で接続 、オンライン 、ビジー 、またはオフライン ) を表示します。デバイスの設定、フォルダのインポート設定にアクセスしたり、不要なデバイスを無効にしたりするには、... をクリックしてください。

* DTX Studio Coreが必須です。

設定の調整

デフォルトの DTX Studio™ ホーム設定の調整

1. **[メニュー]**  をクリックします。
2. **[設定]**  をクリックします。

設定のインポートまたはエクスポート

設定されたプリファレンスを含む設定ファイルを作成またはインポートします。これは、設定を新しいインストールにエクスポートしたり、DTX Studio Clinicの他のユーザーと設定を共有したり、バックアップを作成したりする場合に有用です。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「設定の共有」トピックを参照してください。  をクリックして**[ヘルプ]**を選択してください。

DTX Studio Homeの**[設定]**サイドバーで、**[設定の共有]**をクリックします。

- 設定ファイルをインポートするには、**[インポート]**セクションの**[参照]**をクリックします。設定ファイルを選択して、**[保存]**をクリックします。**[インポート]**をクリックして確定します。
- 設定ファイルをエクスポートするには、**[エクスポート]**セクションの**[参照]**をクリックします。必要に応じてファイル名を変更し、**[保存]**をクリックします。**[エクスポート]**をクリックして確定します。

言語と日付/時刻形式の変更

使用言語、日付形式、時刻形式を調整するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの**[設定]**サイドバーで、**[全般]**をクリックします。
2. **[短い日付形式]**、**[長い日付形式]**、**[時刻形式]**のリストで日付と時刻の形式を選択します。
3. **[アプリケーションの言語]**リストから使用する言語を選択します。
4. **[OK]**をクリックします。
5. 変更を有効にするには、DTX Studio Clinicを再起動します。

DICOM準拠の設定の調整

DIN 6862-2スタンダードへの準拠を確認するには、機関情報を入力してください。DICOMファイルをエクスポートすると、提供した機関情報で空のタグが置き換えられます。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[全般]をクリックします。
2. [DIN 6862-2スタンダードを使用]を選択します。
3. 要求された機関情報を入力します。
4. [OK]をクリックします。

注記

準拠するDICOMファイルをインポートおよびエクスポートすると、DIN 6862-2タグが常に保持されます。

デフォルトのイメージフィルタの設定

DTX Studio HomeビューアとDTX Studio Clinicについて、デフォルトのイメージフィルタを設定するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーまたはDTX Studio Clinicのプリファレンスのサイドバーで、[画像設定]をクリックします。
2. [デフォルト画像設定]リストから、デフォルトのフィルタ設定を設定する画像タイプを選択します。

注記

ガンマフィルタのカスタム値を設定するには、[デフォルト画像設定]リストから[パノラマ]、[口腔内]、または[セファログラム]を選択してください。[ガンマ]オプションを[手動]に設定してください。

3. 選択した画像タイプのデフォルトとして使用するフィルタを選択し、表示されたスライダーを使用してフィルタのパーセンテージを設定します。
4. [OK]をクリックします。

初期設定のデフォルト値に戻す場合は、[リセット]をクリックしてください。

口腔内画像の自動回転の無効化

即時スキャンを実行すると、口腔内画像は自動的に正しい位置へと回転します。この機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーまたはDTX Studio Clinicのプリファレンスのサイドバーで、[画像設定]をクリックします。
2. [DTX Studioのキャプチャで口腔内X線画像の自動回転を適用する]の選択を解除します。

レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化

2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーまたはDTX Studio Clinicのプリファレンスのサイドバーで、[画像設定]をクリックします。
2. 右上のドロップダウンメニューで、[パノラマ]、[口腔内]、または[セファログラム]を選択します。
3. [自動レベル・ウィンドウ]の選択を解除します。
4. カスタムのレベルとウィンドウの値を入力します。
5. [OK]をクリックします。

DTX Studio™ Coreに接続する

DTX Studio Coreは、患者のさまざまな種類のメディアや画像データ（2D X線、3D（CB）CT X線、歯科光学スキャン、写真）を一元化した方法で保存して取り出すためのソフトウェアソリューションです。これにより、歯科医院内のどこからでも保存したデータにすぐにアクセスできるようになります。

- DTX Studio Coreと接続すると、DTX Studio Clinicをネットワーク環境で使用し、サポートされている他のイーサネット接続デバイスや3Shape TRIOS®デバイスから画像を取得することができます。
- ネットワークデバイス、スキャンリクエストを処理し、X線レポートにアクセスするには、DTX Studio Coreとの接続を確立する必要があります。

DTX Studio Coreとの接続を確立するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[コア]をクリックします。
2. DTX Studio Coreの[URL]（Webアドレス）が入力されていない場合は、入力します。
3. [接続]をクリックします。
4. 接続要求が送信され、ローカル管理者がDTX Studio Core UIを介して受け入れることができます。

重要

DTX Studio Clinic 4.3.10 は、少なくとも DTX Studio Core バージョン 4.0 が必要です。アップグレードする場合、DTX Studio Clinic クラウドをアップグレードする前に、DTX Studio Core をアップグレードする必要があります。

アクションウィンドウへのアプリケーションの追加

アクションウィンドウにアプリケーションのショートカットを追加するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[クイック起動]をクリックします。
2. [追加]をクリックします。
3. 実行可能ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
4. 必要に応じて、[アプリケーション名]を変更します。
5. 必要に応じて、[患者データを読み込んで起動]を選択し、患者データを読み込んで他社製アプリケーションを起動します。
 - エクスポートパラメータを[エクスポートパラメータ]フィールドに追加して、エクスポートするデータを指定します。

注記

患者データのすべてのパラメータに関する詳細については、ヘルプファイルのクイック起動のトピックを参照してください。

- [参照]をクリックして、エクスポートしたデータの保存場所を選択します。

6. [OK]をクリックします。

プラクティスマネジメントシステム（PMS）統合の有効化

DTX Studio ClinicをPMSと統合すると（VDDSまたはOPP/OPPウェブを介して）、PMS内に患者記録を作成したり、PMSから画像を取得したりできます。

PMS画像をDTX Studio Homeでプレビューしたり、DTX Studio Clinicに直接表示したりできます。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[PMS統合]をクリックします。
2. [PMS統合の有効化]を選択します。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「PMS統合」のトピックを参照してください。☰をクリックして[ヘルプ]を選択してください。

TWAIN対応デバイスを追加する

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[デバイス]をクリックします。
2. [追加]をクリックします。
3. TWAINデバイスを選択します。
4. デバイスの設定を構成します。
5. [追加]をクリックします。

他社製デバイスの画像を検出するための直接フォルダを構成する

他社製カメラデバイスまたは他社製（CB）CTデバイスからの画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダをセットアップしてください。[キャプチャ]アクションで、画像を患者記録に追加してください（DTX Studio Clinic内から追加することもできます）。

1. カメラデバイスの設定を準備します。
 - 可能であれば、他社製のカメラデバイス、（CB）CTデバイス、またはワイヤレスSDカードをセットアップして、画像を特定のフォルダに保存します。
 - 画像が標準のSDカードに保存されている場合は、そのSDカードを挿入し、割り当てられたドライブ文字を書き留めます。
2. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[デバイス]をクリックします。
3. [追加]をクリックします。
4. 目的の他社製デバイスを選択し、[開く]をクリックします。
5. [参照]をクリックし、カメラデバイスフォルダを選択して、[フォルダの選択]をクリックします。
6. 具体的な名前を入力します。
7. 必要に応じて、モダリティとフォルダの優先順位を変更します。
8. [追加]をクリックします。

デフォルトのエクスポートフォルダの設定

レポート、スクリーンショット、X-Guideファイルのデフォルトのエクスポートフォルダを指定するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[エクスポート]をクリックします。
2. エクスポートタイプごとに[参照]をクリックし、デフォルトのフォルダを選択します。

DTX Studio™ Clinicを閉じるときの自動保存を有効にする

1. DTX Studio Clinicのプリファレンスで、[全般]を選択します。
2. [患者を閉じるときに自動保存]を有効にします。

学習リソースとサポートへの問い合わせ

すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示

ヘルプドキュメント、取扱説明書、キーボードショートカットを表示するには、☰をクリックし、[ヘルプ]、[キーボードショートカット]、または[取扱説明書]を選択してください。もしくは、DTX Studio Clinicの(?)をクリックしてください。

トレーニングビデオのWebサイトと製品ツアーは、DTX Studio Clinicでのみ開くことができます。☰または(?)をクリックし、[トレーニングビデオ]または[製品ツアー]を選択してください。

テクニカルサポートへの問い合わせ

テクニカルサポートに問い合わせるには、☰をクリックし、[サポートへの問い合わせ]を選択してください。すべての問い合わせ方法が記載されたサポートWebサイトが開きます。

主な機能の概要

DTX Studio Homeの主な機能を使用するには、次の手順に従ってください。

-
- | | | |
|-------|------------------|---|
| 1 | 患者記録を作成またはリンクする |  患者記録を作成します (ページ21 ページを参照)。 |
| | |  プラクティスマネジメントシステムを統合し (ページ18 ページを参照)、既存のPMS患者記録をリンクします。 |
| <hr/> | | |
| 2 | データを取得またはインポートする |  スキャンを取得するか、複数のスキャンワークフローを開始するか (ページ29 ページを参照)、直接フォルダから他社製デバイスの画像をインポートします (ページ23 ページを参照)。 |
| | |  1つのスキャン、もしくは複数のスキャンワークフローをリクエストします (ページ29 ページを参照)。 |
| | |  患者記録に画像をドラッグアンドドロップします (ページ23 ページを参照)。 |
| | |  DTX Studio Clinic内のデータをインポートします (ページ23 ページを参照)。 |
| | |  3Shape Dental Desktopソフトウェアからインポートします (ページ25 ページを参照)。 |
-

患者記録が作成され、データが追加されたら、次の手順に進んでください。

-
- | | |
|------------------------------|--|
| 診断を行い、治療の計画を立てる |  <ul style="list-style-type: none">- 画像を診断する- インプラントと治療を計画する- 3D症例プレゼンテーションを患者と共有する (ページ26ページを参照) |
| DTX Studio Clinicで共有とやり取りを行う |  必要に応じて、DTX Studio Implantを開きます (ページ50 ページを参照)。 |
| |  患者記録をエクスポートします (ページ22 ページを参照)。 |
| |  X-Guideにインプラント計画をエクスポートします (ページ27 ページを参照)。 |
| DTX Studio Homeでオーダーを行う |  DTX Studio Goを介して患者記録と患者データを共有するか (ページ25 ページを参照)、パートナーと共同で作業します。 |
| |  必要に応じて、補綴修復または手術計画をオーダーします (ページ51 ページを参照)。 |
-

患者記録

新しい患者記録の作成

1.  をクリックします。
2. **[患者を作成]**を選択します。
3. 患者名、生年月日、性別など、基本的な患者情報を入力します。
4. **[作成]**をクリックします。
5. 患者記録が**[患者 **]リストに追加されます。DTX Studio HomeがDTX Studio Coreに接続されている場合は、DTX Studio Coreにも患者記録が追加されます。

患者記録の管理

患者リストをまだ開いていない場合は、サイドバーの**[患者] ** をクリックして患者リストを開いてください。

注記

ワークステーションがDTX Studio Coreに接続されていない場合は、ローカルに保存されている患者記録だけが表示されます。

- ローカルのワークステーションまたはネットワークに接続されたワークステーションのDTX Studio Clinicで開かれた患者記録には、 マークが付いています。
- 基本患者情報を編集するには、患者リストで患者記録を選択し、**[その他] ...** をクリックして**[編集] ** を選択してください。
- 選択した患者記録を削除するには、**[その他] ...** をクリックし、**[患者の削除] ** を選択してください。
- DTX Studio Coreに保存されている患者記録をオフラインでも利用できるようにするには、**[その他] ...** をクリックし、**[オフライン利用可能]**を有効にしてください。

通知領域 ([ページ15](#)ページを参照) には、アップロードされている患者記録または同期されている患者記録が表示されます。

プライバシーオプションの管理

患者のプライバシーを確保するには、次の手順に従って、患者リストに患者のイニシャルのみを表示するか、患者リストを完全に非表示にしてください。

1. 患者リストで、 をクリックします。
2. イニシャルのみを表示するには**[プライバシーモード]**を選択し、患者リストを完全に非表示にするには**[患者リストを非表示]**を選択します。

注記

患者リストを再度表示するには、サイドバーの **>>** をクリックしてください。

プライバシーモードは、DTX Studio Clinicを再起動した場合でも有効のままです。プライバシーモードをオフにするには、もう一度  をクリックし、**[プライバシーモード]**をオフにしてください。

患者記録の検索とソート

患者記録を検索するには、患者リストをソートするか、検索機能を使用してください。

患者リストのソート

1. [患者]リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [最終作成日]、[最終変更日]、または[最終キャプチャ日]を選択します。
3. もう一度ドロップダウンリストをクリックして閉じます。

患者記録の検索

1. 患者リストで、 をクリックします。
2. [患者名]、[生年月日]、または[患者ID]を選択して検索します。
3. 選択した検索オプション（一部）を[患者検索]フィールド  に入力します。
4. 検索ボックスにテキストを入力すると、患者リストが自動的にフィルタリングされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで  をクリックしてください。

患者記録のエクスポート

患者記録をエクスポートして、診断および画像データを別のDTX Studio Clinicユーザーと手動で共有することができます。また、エクスポートした患者記録は、無料版のDTX Studio Clinicで表示でき、DTX Studio Goで利用できます。詳細は [ページ25ページ](#) を参照してください。

注記

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的で使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

データの管理

データのインポート

画像を他社製デバイスからインポートする

他社製カメラデバイスまたは他社製（CB）CTデバイスから画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダを設定しておいてください（[ページ18](#)ページを参照）。

1. 患者リストで患者記録を選択するか、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。
2. **[キャプチャ]** をクリックします。
3. 直接フォルダの名前にカーソルを合わせ、**[選択]** をクリックします。
 - 2D画像の場合は、インポートする画像を選択します。**[終了]** をクリックします。
 - 3D（CB）CTデバイスの場合は、インポートする3Dデータを選択します。**[インポート]** をクリックします。

画像とファイルを患者記録またはDTX Studio™ Clinicへドラッグ・アンド・ドロップする

1. 互換性のある画像またはファイルの種類をファイル・エクスプローラから患者記録またはDTX Studio Clinicにドラッグ・アンド・ドロップします。
2. 必要に応じて、モダリティと取得日を変更します。
3. **[インポート]** をクリックします。
4. 画像またはファイルが患者記録に追加されます。

DTX Studio™ Clinic内からデータをインポートする

データをインポートするには、患者メニューの**[インポート]** ↓ をクリックしてください。

3D X線データのインポート

1. **[インポート]** ↓ をクリックし、**[3D X線]** を選択します。
2. **[DICOMファイルのインポート]** をクリックします。
3. DICOM画像ファイルの場所を参照して、そのフォルダを選択します。
4. **[インポート]** をクリックします。
5. DICOMファイルが読み込まれます。右側のスライダーを使用して、スライス全体をスクロールし、DICOM画像を確認します。
6. **[終了]** をクリックします。
7. MagicAssist™ が有効になっている場合（デフォルトで有効）、AI検出プロセスが開始され、（CB）CTデータが自動的にセットアップされます。
 - **[MagicAssistをスキップ]** をクリックして、3D X線を手動で設定します。
 - 3D X線の向きは、患者の方向ウィザードによって最適化できます。
 - OPG曲線アクション（[ページ48](#)ページを参照）を実行すると、3D OPGを調整できます。

口腔内スキャンのインポート

1. [インポート] ↓ をクリックし、[口腔内スキャン]を選択します。
2. 口腔内スキャンモデルを選択し、必要に応じて取得詳細を追加します。
3. [次へ]をクリックします。
4. [終了]をクリックします。

フェイススキャンのインポート

1. [インポート] ↓ をクリックし、[フェイススキャン]を選択します。
2. インポートするフェイススキャンを選択します。
3. [開く]をクリックします。
4. 必要に応じて、[明るさ]と[コントラスト]を調整します。
5. [終了]をクリックします。

2D画像のインポート

1. [インポート ↓] をクリックし、[2D画像]を選択します。
2. 画像を選択し（複数可）、[インポート]をクリックします。
3. 追加する画像を選択します。
4. [インポート]をクリックします。
 - 2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、[レベルとウィンドウの値における自動設定の無効化](#)を参照してください。
 - デフォルトでは、MagicAssist™の自動検出が有効になっています。これは、DTX Studio Home [MagicAssist](#)の設定で無効にすることができます。

クリップボードからのインポート

1. コンピュータ上の画像をコピーして、クリップボードに追加します。
2. [インポート] ↓ をクリックし、[クリップボードから]を選択します。
3. インポートした画像をチェックします。別のモダリティに変更するには、… をクリックし別のモダリティを選択します。
4. [インポート]をクリックします。

3Shape Dental Desktopソフトウェアからのインポート

3Shape TRIOS口腔内スキャナーで取得したスキャンをインポートするには、最初にDTX Studio Homeで患者記録を作成する必要があります。

注記

3Shape TRIOS口腔内スキャナーデバイスの統合方法については、『DTX Studio Coreクイックガイド』を参照してください。

- DTX Studio Homeで新しい患者記録を作成します。3Shapeデータが確実にマージされるようにするには、次の手順に従ってください。
 - 3Shape Dental Desktopの既存の患者記録とまったく同じ名、姓、生年月日を使用します。
 - 患者名の大文字と小文字が正しく表記されていることを確認します。名前の大文字と小文字は区別されます。

注記

以前にインポートした患者記録は再インポートできません。3Shape Dental Desktopで患者記録を複製し、複製した患者記録を代わりにインポートしてください。

DTX Studio Clinicの患者記録IDは、3Shapeと交換されません。リンクは、名、姓、生年月日が同じであることをユーザーが確認したうえで作成されます。

- [患者]  リストで該当する患者記録を選択します。
- [その他] ... をクリックします。
- [3Shapeからインポート]  を選択します。
- 必要に応じて、患者記録が3Shape Dental Desktopの患者記録と一致していることを確認します。
- データが取得され、[患者の詳細]パネルの[患者データ]タブに追加されます。

手術計画のインポート

- [患者]  リストで該当する患者記録を選択します。
- [その他] ... をクリックします。
- [手術計画のインポート]  を選択します。
- 手術計画とレポートを選択します。
- [インポート]をクリックします。

データの共有

DTX Studio™ Goを介した患者データの共有

患者データはDTX Studio Goを介して歯科医院と共有できます。患者データを共有すると、追加の[GoShare]タブに概要が表示されます。

- 患者記録のアクションウィンドウで、[共同編集]  をクリックします。
- 以下のように共有する対象を選択します。
 - [患者]  : 患者記録全体 (DTX Studio Clinic独自の暗号化形式) を共有します。
 - [データを選択]  : 特定のデータを共有します。
- 目的のオプションを選択します。

4. [続ける]をクリックします。
5. WebブラウザでDTX Studio Goが開き、作成したGoShare™症例が表示されます。一方、データはバックグラウンドでアップロードされます。
 - [処方箋]カードのテキストフィールドに備考を追加します。
 - 処方箋テンプレートを作成するには、[簡単な備考を挿入]をクリックして[構成]を選択します。[簡単な備考を追加]をクリックします。タイトルを追加し、カスタムテキストを入力して、[保存]をクリックします。[閉じる]をクリックします。
 - デフォルトの処方画像を変更するか、注釈を追加するには、処方画像にポインタを合わせて[処方箋の編集]を選択します。別の画像を選択するには、[画像の変更]をクリックします。
 - 患者情報を編集するには、右上隅にある  をクリックします。
 - 必要に応じて、(CB) CT画像、臨床写真、口腔内画像、OPG、レポートなどの詳細情報または追加ファイルを提供します。
6. [共有の開始]をクリックします。
7. 患者データを共有するための接続を選択します。[接続で共有]フィールドで既存の接続を検索または選択してください。あるいは電子メールアドレスを入力してください。
8. [送信]をクリックします。受信アカウントは電子メールで通知されます。
9. 共有された症例が患者記録のGoShareの概要に追加されます。[症例の表示]をクリックし、共有された症例をDTX Studio Goで開きます。

3D症例プレゼンテーションの共有

1. DTX Studio Clinicの患者メニューで、[共有 - 2. 以下のように目的のオプションを選択します。
 - [3Dデータ (DICOM) を含める]：お住まいの国で法律上必要な場合は、DICOMの生データを含めます。
 - [インプラント治療計画を含める]：インプラントの詳細情報を追加します。
- 3. [共有]をクリックします。
- 4. 3D症例検討がDTX Studio Goにアップロードされ、症例に追加されます。
- 5. DTX Studio Goでプロセスを完了し、要求された情報を提供します。
- 6. 患者はオンラインで3D症例検討にアクセスできます。
- 7. 3D症例検討は、患者記録の患者データに追加されます。

2D画像を電子メールで共有するか、他社製アプリケーションに転送する

1. ワークスペースで2D画像を右クリックし、[コピー]を選択します。または、ビューアの左上隅にある  をクリックします。
2. 電子メールクライアントまたは他社製アプリケーションを開き、関連する場所を右クリックし、[貼り付け]を選択します。

データのエクスポート

患者記録のエクスポート

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他] ... をクリックします。
3. [患者のエクスポート ⓘ] をクリックします。
4. 必要に応じて、エクスポートする診断を選択します。
5. 目的のオプションを選択します。
6. [参照] をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。
7. [エクスポート] をクリックします。

患者データのエクスポート

1. データのエクスポート操作に進みます。
 - DTX Studio Homeで、アクションウィンドウの[その他 ...] をクリックし、[データのエクスポート] を選択します。
 - DTX Studio Clinicで、[エクスポート ⬆] をクリックし、[データ] を選択します。
2. エクスポートする画像を選択します。
3. [参照] をクリックし、目的のエクスポート先に移動します。
4. [フォルダの選択] をクリックします。
5. エクスポートモード、患者の匿名化、メタデータ、画像ファイル形式を選択します。
6. [エクスポート] をクリックします。

インプラント計画をX-Guide™にエクスポートする

DTX Studio Clinicで完了したインプラント計画は、X-Guideにエクスポートできます。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他] ... をクリックします。
3. [X-Guideにエクスポート] ⓘ をクリックします。
4. 必要に応じて、エクスポートするインプラント計画を選択します。
5. 目的のオプションを選択します。
6. [参照] をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダの選択] をクリックします。
7. [エクスポート] をクリックします。

スキャンのリクエスト

スキャンリクエストを処理したり、複数のスキャンプロトコル（[ページ29ページを参照](#)）を使用してスキャンワークフローを開始したりするには、DTX Studio Coreとの接続を確立する必要があります（[ページ17ページを参照](#)）。

スキャンのスケジュール

患者のスキャンをリクエストするには、次の手順に従ってください。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [スキャンリクエスト]  をクリックします。
3. 必要に応じて、複数のスキャンプロトコルを使用してスキャンワークフローを開始します（[ページ29ページを参照](#)）。
4. デバイスのタイトルにカーソルを合わせて、[選択] をクリックします。
5. スキャンリクエストフォームに適切な情報を入力します。

注記

選択したモダリティまたはデバイスに応じて、フォームは異なります。

- 必要に応じて、[スキャン日]と[リクエスト元の歯科医]を変更します。
 - 画像取得デバイスが複数のモダリティに対応している場合は、必要なモダリティを[3D]、[CEPH]（セファログラム）、[OPG]（PAN）、[IOXRAY]（2D口腔内スキャン）、[IOS]（3D口腔内スキャン）、[IOCAM]（口腔内写真）から選択します。必要に応じて、画像取得プログラムを選択します。
 - 歯式チャートで、スキャンする領域を選択します。
 - 上顎洞領域をスキャンする必要がある場合は、[上顎洞]を選択します。
 - 必要に応じて、画像取得の解像度を選択します。
 - 選択したデバイスが口腔内デバイスである場合は、[テンプレート]を選択し、[画像取得プログラム]を指定します。
 - 必要に応じて、オペレーターのために[リクエストの備考]を追加します。
6. [スキャンリクエストを作成] をクリックします。スキャンリクエストが追加されます。

スキャンリクエストの検索とソート

スキャンリクエストリストのソート

1. サイドバーで、[スキャンリクエスト]  をクリックします。
2. [スキャンリクエスト]リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
3. ソート項目として[予定日]または[作成日]を選択します。

スキャンリクエストの検索

1. [スキャンリクエストの検索]フィールド  に予定日または患者名（一部でも可）を入力します。
2. 検索ボックスにテキストを入力すると、スキャンリクエストリストが自動的にフィルタリングされます。検索結果が、予定日に基づいてソートされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで  をクリックしてください。

スキャンリクエストの管理

スキャンリクエストを編集、削除したり、完了済みとしてマークしたりするには、スキャンリクエストを選択し、... をクリックしてください。対応するアクションを選択してください。

スキャンワークフロー

QuickPrescribe機能を使用すると、定義済みスキャンリクエストの特定のセットを使用して、さまざまなモダリティからの複数のスキャンで構成されるスキャンワークフローを作成できます。これらのスキャンワークフローは、すべてのワークステーションで使用できます。

まずDTX Studio Coreでスキャンワークフローを定義してから、スキャンのスケジュールかキャプチャウィザードで適用してください。

スキャンワークフローの定義

1. 画面下部（Macを使用している場合は画面上部）の通知領域にある ⓘ アイコンをクリックします。
2. [QuickPrescribe] をクリックします。スキャンワークフローをまだセットアップしていない場合は、[今すぐ始める] をクリックします。
3. DTX Studio Coreでスキャンワークフローの設定を完了します。
注記
 詳細については、DTX Studio Coreで、左下隅にある[ヘルプ] をクリックしてください。
4. スキャンリクエストまたはキャプチャウィザードでスキャンワークフローを選択します。

スキャンワークフローの適用

DTX Studio Coreで定義したスキャンワークフローをスキャンリクエストウィザードまたはキャプチャウィザードで選択できます。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [スキャンリクエスト] または [キャプチャ] をクリックします。
3. [QuickPrescribe] をクリックします。
注記
 結果を絞り込むには、検索フィールドにスキャンワークフロー（一部でも可）を入力してください。
 設定されているすべてのモダリティとパラメータを表示するには、リスト内のスキャンワークフロー名にカーソルを合わせてください。[詳細] をクリックしてください。
4. リスト内のスキャンワークフロー名にカーソルを合わせ、[スキャンリクエストを作成 (#)] をクリックします。数字は、選択したスキャンワークフローで作成されたスキャンリクエストの数を示します。
5. 歯式チャートで、スキャンする診断領域を選択します。
6. [スキャンリクエストを作成] をクリックします。

スキャンの実行

スキャンリクエストを最初に作成するかどうかにかかわらず、患者の診断前、診断中、または診断後にスキャンを取得できます。

より正確にスキャンするために、ソフトウェアの指示と技術的な通知に従うことを強くお勧めします。

予定されているスキャンの実行

スキャンリクエストに対してスキャンを実行するには、次の手順に従ってください。

1. スキャンリクエストカードで、**[開始]**をクリックします。
2. 必要に応じて、デバイスのタイルにカーソルを合わせて、**[選択]**をクリックします。
3. スキャンモジュールまたは他社製スキャンアプリケーションが開きます。
4. 指示に従います。
5. アクションを終了するには**[終了]**をクリックし、DTX Studio Clinicで患者記録を開くには**[診断を開く]**をクリックします。

即時スキャンの実行

1. DTX Studio Homeで患者記録を選択するか、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。
2. **[キャプチャ]**  をクリックします。
3. デバイスまたは直接フォルダのタイルにカーソルを合わせて、**[選択]**をクリックします。

注記

口腔内画像は正しい位置で自動的に回転します。この機能を無効にするには、[ページ16ページ](#)を参照してください。

2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、[ページ16ページ](#)を参照してください。

キャプチャウィザードで、センサーサイズの異なる複数のセンサーをプラグインまたはプラグアウトして使用してください。使用されているセンサーは右上隅に表示されます*。

複数のセンサーがプラグインされている場合は、+記号が表示されます*。接続されアクティブになっているセンサーはすべて、スキャンを取得する準備ができています。X線が画像取得のトリガとなります。

* DTX Studio Clinicで直接サポートされているセンサーとPSPの場合。TWAINを介して接続するデバイスの場合、この機能は制限されます。

口腔内センサーまたはPSPデバイスによるガイドあり取得

テンプレートを使用して口腔内画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[テンプレート]** タブをクリックし、目的のテンプレートを選択します。
3. 取得するレイアウトと画像を選択します。
4. **[開始]** をクリックします。
5. スキャンを実行するデバイスに移動します。
6. プレビューページで、取得した画像をチェックします。プレビュー画像にカーソルを合わせると、**[回転]**、**[反転]**、**[イメージフィルタ]**の表示/非表示、**[再度キャプチャ]**のオプションが表示されます。必要に応じて変更を加えてください。
7. **[終了]** をクリックします。

口腔内センサーまたはPSPデバイスによるガイドなし取得

テンプレートを使用せずに口腔内画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドなし]**タブを選択します。
3. スキャンを実行するデバイスに移動します。



MagicAssist™自動検出をアクティブにしている場合は、以下の手順を参照してください。

- 右下隅に、MagicAssist™自動検出アイコンが表示されます。
- キャプチャウィザードで、歯が自動的に検出されます。これらの歯には青色のマークが付いています。MagicAssist™ラベルを削除するには、歯をクリックしてください。
- 口腔内画像は、FMXチャートに自動的にマッピングされます。
- 必要に応じて、歯式チャートに未確認の画像を手動で示してください。

注記

デフォルトでは、MagicAssist™の自動検出が有効になっています。これは、設定で無効にすることができます。

4. 必要に応じて、プレビューページで取得した画像をチェックし、歯の範囲を割り当てます。
 - 歯の範囲で指定した歯を削除する場合は、**[選択の消去]**をクリックしてください。
 - 必要に応じて変更を加えてください。プレビュー画像にカーソルを合わせると、**[回転]**、**[反転]**、**[イメージフィルタ]**の表示/非表示、**[再度キャプチャ]**のオプションが表示されます。
 - 必要に応じて、取得した画像を回転または反転してください。

アクション

アイコン ショートカット

画像を反時計回りに回転する



[Alt + ←]または[R]

画像を時計回りに回転する



[Alt + →]または[Shift+R]

口腔内画像または臨床写真を水平方向に反転する



[U]

口腔内画像または臨床写真を垂直方向に反転する



[Shift + U]

口腔内カメラによるガイドあり画像取得

テンプレートを使用して口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドあり]**タブを表示したままにします。
3. 口腔内カメラの場合は、取得する歯を選択します。
4. デバイスのボタンを押すか（利用可能な場合）、**[画像キャプチャ]**をクリックします。
5. 別の歯を選択して口腔内画像を撮影するには、**←**または**→**のキーボードボタンを使用します。または、歯の範囲で歯をクリックするか、**[前へ]**または**[次へ]**をクリックします。

注記

1本の歯につき1枚の画像のみが必要な場合は、**[キャプチャ後に次の歯牙に進む]**を有効にし、次の歯に自動的に進むようにしてください。

6. **[終了]**をクリックします。

口腔内カメラによるガイドなし画像取得

テンプレートを使用せずに口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従ってください。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドなし]**タブをクリックします。
3. デバイスのボタンを押すか（利用可能な場合）、**[画像キャプチャ]**をクリックします。
4. 取得した画像を歯に割り当てるには、下部にある画像のサムネイルをクリックして、歯の範囲で対応する歯を選択します。

注記

画像を選択し、歯をクリックして他の歯にドラッグすることにより、複数の歯に画像を割り当てることができます。

5. **[終了]**をクリックします。

口腔内スキャン

3Shape TRIOS®スキャナー

1. **[キャプチャ]**  をクリックします。
2. 3Shape口腔内スキャナータイトルにカーソルを合わせて、**[選択]**をクリックします。
3. 3Shape Dental Desktopアプリケーションでスキャンを開始します。

注記

3Shape TRIOS口腔内スキャナーデバイスの統合方法については、『DTX Studio Coreクイックガイド』を参照してください。

4. スキャンプロセスを完了します。
5. 画像は、**[患者詳細]**パネルの**[患者データ]**タブに追加されます。
 - 完了したスキャンリクエストには、チェックマークが付きます。
 - **[診断を開く]**をクリックして、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。

DEXIS™ スキャナーおよびMeditスキャナー

スキャンモジュール*では、Medit ScanまたはDEXIS IS ScanFlowをDTX Studio Clinicと統合することで、サポートされているMedit/DEXIS口腔内スキャナーを使用できます。

口腔内のスキャンデータの取得

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [キャプチャ] をクリックします。
3. 口腔内スキャナータイトルにカーソルを合わせて、[選択] をクリックします。
4. スキャンモジュール*の指示に従います。
5. 処理済みデータが患者記録に追加されます。
6. ScanFlowを使用して複数の咬合モデルをキャプチャした場合は、DTX Studio Clinicで上顎または下顎を右クリックし、[咬合] をクリックして選択を行います。

スキャン症例を再度開く

ローカルでキャプチャされた口腔内スキャンデータは、スキャンモジュール*で再度開くことができます。

注記

これは、スキャンデータの取得に使用したコンピュータでのみ可能です。

スキャンモジュール*を再度開いてスキャンを編集するには、トリミングや測定などを行ってください。

1. 患者記録で、口腔内スキャンタイトルをクリックします。
2. [Medit Scanで開く] または [ScanFlowで編集] をクリックします。

* Windowsコンピュータのみ、および口腔内スキャンデータの取得に使用したコンピュータで、スキャンの生データが含まれるフォルダが利用可能な場合。適切なライセンスの種類またはPlus+機能（Medit Scanの統合またはDEXIS IS ScanFlowの統合）へのサブスクリプションが必要です。Medit ScanおよびDEXIS IS ScanFlowの追加のソフトウェアモジュールをインストールする必要があります。

DEXIS™ IS ScanFlowスキャンの再開

ローカルでキャプチャされた口腔内スキャンデータは、ScanFlowで再度開いて、スキャンの編集、追加のスキャンの取得、トリミング、測定などを行うことができます。

1. 患者記録で、DEXIS ISデバイスの口腔内スキャンタイトルを選択します。
2. ... をクリックし、[ScanFlowで再開] を選択します。

高度なScanFlow機能の有効化

高度なScanFlow機能を有効にすると、DEXIS IS 3800をIO CAM*モードで使用したり、DEXISデバイスの生データをインポートしたりできます。

3. DTX Studio Homeの[設定]サイドバーで、[DEXIS IS] をクリックします。
4. [ScanFlowをスキャンモードで起動する] を無効にします。

* IO CAMは、プレミアムライセンスとDEXIS IS 3800デバイスがある場合にのみ使用でき、スキャンの編集、追加のスキャンの取得、トリミング、測定などを行うことができます。

診断または治療計画

DTX Studio Clinicで患者記録を開いて、患者データを表示してチェックしたり、患者記録に所見や計測値を追加したりすることができます。

DTX Studio Homeの[患者]リストで患者記録を選択し、[患者を開く]をクリックしてください。あるいは、患者リストで患者名をダブルクリックするか、[O]キーを押してください。

この機能はDTX Studio Clinicのライセンスの種類によって異なります。

ライセンスの種類	機能	画像取得
DTX Studio Clinic Pro または Pro IOS	2Dおよび3D	2Dおよび3D
DTX Studio Clinic Select または Starter	2Dおよび選択された3D表示機能	2Dのみ

Clinicモジュールの閲覧



- 1 患者メニュー
- 2 メニューバー
- 3 ツールバー
- 4 ワークスペース
- 5 ワークスペース – SmartLayout
- 6 スマートパネル

患者メニューの使用

DTX Studio Clinicで患者メニューを開くには、左上隅の☰をクリックしてください。

メニューオプション

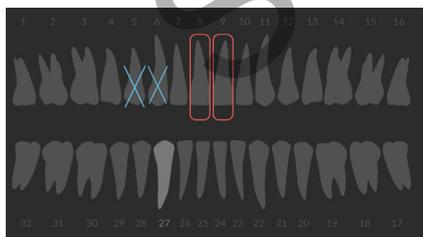
- [新規]: 新しい診断を作成します。
- [開く]: 別の既存の診断を開きます。
- [保存]: 開いている診断を保存します。
- [ヘルプ]: ヘルプドキュメントWebサイトを開きます。
- [サポートに問い合わせる]: サポートに問い合わせるためのWebサイトを開きます。
- [トレーニング動画]: トレーニング動画のWebサイトを開きます。
- [キーボードショートカット]: キーボードショートカットの概要を表示します。
- [製品ツアー]: DTX Studio Clinicの機能を説明する製品ツアーを開きます。
- [環境設定]: [デフォルトワークスペース]、[パフォーマンス]、[画像設定]、[3Dビューア]、[ツール]などの設定を変更します。
- [患者を閉じる]: DTX Studio Clinicウィンドウを閉じます。

操作

- [キャプチャ]: データを直接取得します。あるいは、メニューバーの📷をクリックします。
- [インポート]: 開いている診断にデータをインポートします。
- [エクスポート]: データまたは患者診断レポートをエクスポートします。
- [共有]: 3D症例プレゼンテーションを共有します。

歯列チャート

患者メニューの歯式チャートには、開いている診断内における歯のステータスの概要が表示されます。



注記

患者が8歳未満の場合、乳歯の歯式チャートが表示されます。患者が成長したときに大人の歯式チャートに移動するには、歯を手動で変更する必要があることに留意してください。

歯式チャートの編集

歯式チャートを編集するには、歯式チャートで歯をクリックし、次のいずれかを選択してください。

アイコン	アクション	説明
	交換	乳歯と永久歯を交換します。このオプションは、乳歯に対応する永久歯がある場合に使用できます。歯を交換した場合、乳歯のすべての所見が削除され、永久歯が健康な歯に設定されます。 注記 患者が8歳未満の場合、乳歯列が表示されます。
	欠損（空隙あり）	この歯は欠損しており、この場所に空隙があります。
	埋伏	この歯は埋伏歯になります（親知らずでよく使用されます）。
	挿入	歯を挿入します（乳歯列における永久大白歯など）。
	欠損（空隙なし）	歯数不足を示します。

診断データ

歯式チャートの下に、開いている診断のスキャンおよび画像がデータタイプごとに表示され、取得日に基づいてソートされます。最終的なインプラント計画もここに表示されます。

患者データを含めるか除外するかを選択するには、タイルをクリックしてください。

-  3D X線
-  OPG（パノラマ画像）
-  口腔内画像
-  セファログラム
-  臨床写真
-  スクリーンショット
-  フェイススキャン
-  口腔内スキャン

3Dおよび口腔内スキャンビューアの背景を設定する

- [環境設定]ウィンドウで、[3Dビューア]をクリックします。
- [無地]を選択します。
- ドロップダウンメニューで色を選択するか、[カスタム]を選択して他の色を選択します。

4. [OK]をクリックします。

デフォルトの画像ズームレベルの設定

表示される画像のデフォルトのズームレベルを設定するには、次の手順に従ってください。

1. [環境設定]ウィンドウで、[ワークスペース]をクリックします。
2. [デフォルト画像サイズ]リストで、デフォルトの倍率を選択します。
3. [OK]をクリックします。

ビューアの操作

一般的なビューア操作にアクセスするには、ビューア内の任意の場所を右クリックします。オブジェクト（インプラント、注釈、注釈など）を右クリックすると、その操作が表示されます。

ビューアを操作するにはマウスを使用してください。デフォルトの3DビューアコントロールをDTX Studio ImplantまたはInvivoのコントロールに変更するには、[3Dビューア]環境設定メニューに移動してください。

	アクション	3Dビューア	その他のビューアタイプ
	右クリック	オブジェクトとビューアのコンテキストメニュー	オブジェクトとビューアのコンテキストメニュー
	右クリックしながらドラッグ	3Dモデルを回転させる	明るさ/コントラスト（デフォルト）または拡大と縮小
	[Ctrl]+クリックしながらドラッグ、または[Cmd]+クリックしながらドラッグ	パン	パン
	[Shift]+クリックしながらドラッグ	拡大と縮小	拡大と縮小
	ホイールボタンをスクロール	拡大と縮小	リスライスのビューアのみ：スライスをスクロール

ワークスペース

ワークスペースバーからワークスペースを選択するか、利用可能な場合は、対応するショートカットキーを使用してください（[ページ19](#)ページの「学習リソースとサポートへの問い合わせ」を参照）。

注記

画像またはデータが診断に追加されているワークスペースのみが表示されます。

ワークスペース	説明	ショート カットキー
3D患者	<p>読み込んだモデルをすべての面からチェックするには、マウス操作（ページ37ページを参照）とキーボードショートカットを使用してください。または、以下の標準の臨床ビューアイコンを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none">  正面  背面  左側面  右側面  頭蓋方向  顎方向 <p>口腔内スキャンのワークスペースに移動するには、もう一度[F2]キーを押してください（利用可能な場合）。</p>	F2
3Dパノラマ	<p>3DパノラマX線画像は、ロードした3D X線データに基づいて生成されます。</p>	F3
歯	<p>特定の歯に移動し、スマートパネルの[レイアウト]タブを使用してすべての2Dデータと3Dデータを比較します。選択した歯に注釈を付けます（ページ42ページを参照）。</p> <p>垂直ビューアの垂直スライダーを使用すると、歯の回転軸を中心としてスライスが回転します。状況に応じて、次のスライスヒントがリスライスの方向を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 口腔側/頬側 (O/B) - 近心/遠心 (M/D) - 左/右 (L/R) <p>回転軸を調整するには、ページ44ページを参照してください。</p> <p>エンドワークスペースに移動するには、もう一度[F4]キーを押してください（利用可能な場合）。</p>	F4

ワークスペース	説明	ショート カットキー
エンド	<p>歯内診断と歯内療法の対象となる歯に焦点を合わせます。歯髄を表示するには、スマートパネルの[ビューア]タブにある[エンド]3D表示をクリックしてください。</p> <p>注記 このワークスペースは、3D X線データがロードされ、歯の注釈が定義されている場合に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 3Dビューアは、対象の歯に焦点を合わせています。 - 歯の断面ビューアは、歯の水平方向におけるいくつかの断面を表示する断面ビューアです。 - 歯根形態を定義すると（ページ46ページを参照）、歯根管が表示されます。 <p>[歯牙]ワークスペースに移動するには、もう一度[F4]キーを押してください（利用可能な場合）。</p>	F4
インプラント	<p>インプラントを計画し、チェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> - リスライスをクリックしてドラッグするか、スクロールして希望する位置に移動します。 - 3D（CB）CTデータの3Dリスライスビューアから、オブジェクト、先端またはショルダーポイントをクリックしてドラッグすることで、インプラントまたはアンカーピンを平行移動または回転させることができます。 	F9
3Dチェック	歯の範囲外にある特定のポイントに移動してチェックします。	N/A
TMJ	顎頭と顎関節の領域をチェックします。	N/A
口腔内スキャン	口腔内スキャンをチェックして比較します。3D患者ワークスペースに移動するには、もう一度[F2]キーを押してください（利用可能な場合）。	F2
OPG	2DパノラマX線画像（パノラマ）またはマルチレイヤー・パノラマ画像を表示します。	F5

ワークスペース	説明	ショート カットキー
口腔内	<p>レイアウト上の口腔内画像をチェックします（例：全顎X線写真）。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 追加のワークスペース機能（画像フィルタとSmartLayout）を使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページ42ページを参照）。 - 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押してください。 - 別の画像に切り替えるには、スマートパネルの[レイアウト]タブの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、← ↑ ↓ →の矢印キーを使用してください。 - 複数枚の画像を同じ1つのプレースホルダーに積み重ねることができます。すべての画像を表示するには  をクリックしてください。これらの画像を比較するには  をクリックしてください。 	F6
セファログラム	<p>正面や側面のセファログラムを表示します。[3Dセファログラムを生成] ツールを使用して、ロードした3D X線データに基づいてセファログラムを計算したり、2Dセファログラムをインポートしたりすることができます。</p>	F7
臨床写真	<p>患者の臨床写真を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 追加のワークスペース機能（画像フィルタとSmartLayout）を使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページ42ページを参照）。 - 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押してください。 - 別の画像に切り替えるには、スマートパネルの[レイアウト]タブのミニマップ概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、← ↑ ↓ →の矢印キーを使用してください。 - 複数枚の画像を同じ1つのプレースホルダーに積み重ねることができます。すべての画像を表示するには  をクリックしてください。これらの画像を比較するには  をクリックしてください。 - 別のレイアウト（歯科矯正、カメラ、または臨床写真）を選択するには、ワークスペースの左上隅にある  をクリックし、[レイアウト]を選択して好みのレイアウトを選択してください。 	F8

ワークスペース	説明	ショート カットキー
口腔内写真	<p>臨床写真に似ていますが、口腔内カメラ画像が含まれています。</p> <p>歯式チャート上で歯を選択し、歯のワークスペースで画像取得に口腔内カメラを使用すると、取得した画像が選択した歯に自動的に割り当てられます。</p> <p>割り当てられた歯の番号が、臨床写真ワークスペースに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加のワークスペース機能（画像フィルタとSmartLayout）を使用するには、画像をダブルクリックしてください（ページ42ページを参照）。 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押してください。 別の画像に切り替えるには、スマートパネルの[レイアウト]タブの概要にあるサムネイルをクリックしてください。あるいは、← ↑ ↓ →の矢印キーを使用してください。 複数枚の画像を同じ1つのプレースホルダーに積み重ねることができます。すべての画像を表示するには、≡をクリックしてください。これらの画像を比較するには、><をクリックしてください。 	N/A
口腔内カメラ	口腔内カメラ取得専用のワークスペース。	F10
最近の画像	[最近の画像]ワークスペースには、最近インポートした画像や最近取得した画像がすべて表示されます。デフォルトでは、このワークスペースに過去7日間の画像が表示されます。これを変更するには、DTX Studio Clinicの環境設定に移動してください。	F12

ワークスペースのカスタマイズ

- [環境設定]ウィンドウで、[ワークスペース]をクリックします。
- [デフォルトワークスペース]リストで、DTX Studio Clinicを開いたときにデフォルトで表示されるワークスペースを選択します。標準設定は[最近のデータ]で、最近インポートした画像や最近取得した画像に関連付けられたワークスペースが表示されます。
- 必要に応じて、[最近の画像]ワークスペースに表示する画像について、[最近の画像]フィールドの日数を変更します。デフォルト値は7日です。
- [OK]をクリックします。

SmartFocus™で関連する歯の情報をすべて表示する

サポートされているビューアでSmartFocusを有効にするには、スペースバーを押してください。あるいは、上部メニューバーの \oplus をクリックしてください。

- [歯牙]ワークスペースに移動し、必要に応じてビューアに特定の歯のデータをロードするには、歯の領域をクリックしてください。
- [3D検査]ワークスペースに移動するには、歯の範囲外の領域をクリックしてください。

SmartLayout™で表示をカスタマイズする

スマートパネルの[レイアウト]タブを使用してビューアを追加または削除したり、ビューアの比率を変更したりすることで、ワークスペースをカスタマイズできます。

- ワークスペースに別のビューアを追加するには、スマートパネルの[レイアウト]タブで、任意のタイルをクリックしてください。
- ワークスペースからビューアを削除するには、そのタイルを再度クリックしてください。
- ビューアの比率を変更するには、ウィンドウプリッターのいずれかをドラッグしてください。
- ビューアを閉じるには、左上のウィンドウタイトルをクリックしてください。[ビューアを閉じる]を選択してください。あるいは、[Q]キーを押してください。
- モダリティ順または日付順にソートするか、選択した画像が最初に表示されるようにソートするには、[並べ替え基準]ドロップダウンメニューをクリックして、[モダリティ]、[日付]、[最初に選択済み]のいずれかを選択してください。
- ワークスペースのレイアウトを保存するには、ワークスペースのタイトルの横にある ... をクリックし、[ワークスペースのレイアウトの保存]を選択してください。このレイアウトは、新規患者診断のためのデフォルトのレイアウトとして設定されます。ビューアをリセットするには、[ワークスペースのリセット]をクリックしてください。

3D X線データと口腔内スキャンの合成

口腔内スキャンを3D患者ワークスペースの3D X線と合成するには、次の手順に従ってください。

1. [口腔内スキャン]ツールメニューの[3D X線データと合成]  をクリックします。
2. 口腔内スキャンを選択し、[次へ]をクリックします。
3. 必要に応じて、対応するポイントを指定し、[骨閾値]スライダーを使用して表示を調整します。
4. アライメントをチェックします。
5. [終了]をクリックします。

サムネイルバーから画像を配置する

口腔内ワークスペースと臨床写真ワークスペースの下部にあるサムネイルバーには、診断に追加されているもののワークスペースビューアには表示されていない画像が含まれます。

- このサムネイルバーから画像をドラッグし、プレースホルダーの上にドロップしてください。
- プレースホルダーに既に画像が含まれている場合は、その画像が新しい画像に置き換えられ、古い画像はサムネイルバーに再び追加されます。

診断所見の追加

スマートパネルの[所見]タブでは、歯の病変、顎関節の問題、または歯のレベルに関するその他の診断所見を記録できます。

- 事前に定義された診断所見を歯に追加するには、[診断]ツールメニューまたはスマートパネルの[所見]タブで[所見の追加]  をクリックしてください。必要に応じて、所見の[スクリーンショット]  をクリックして、スクリーンショットを含めてください。

- 所見を削除するには、所見の上にカーソルを置くか、所見を選択し、 をクリックして[削除]を選択してください。
- カスタムの診断所見を追加するには、検索フィールドにカスタムの名前を入力し、[Enter]キーを押すか[追加]をクリックしてください。
- 必要に応じて、ドロップダウンメニューをクリックしてステータスを割り当ててください。

注記

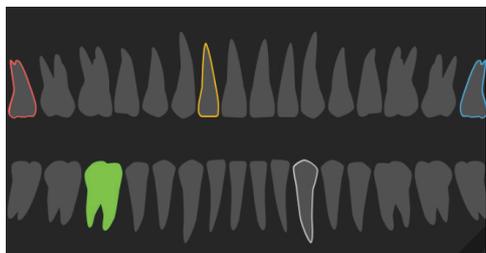
歯牙のワークスペースでは、ステータスは歯式チャートにも視覚的に示されます。

歯牙のワークスペースで所見を追加した場合、その所見は特定の歯に追加されます。

別のワークスペースで所見を作成した場合は、歯式番号のプレースホルダーをクリックし、歯式番号を入力して、特定の歯牙に所見を割り当ててください。

スマートパネル歯式チャート

歯牙のワークスペースとエンドワークスペースでは、歯式チャートは[スマートパネル]タブの上に表示されます。



- データがワークスペースに表示されている有効な歯牙は、緑色で強調表示されます。
- 別の歯牙を選択するには、歯式チャートで歯牙をクリックしてください。
- 歯式チャートの下で、前の歯牙に移動する場合は < をクリックし、次の歯牙に移動する場合は > をクリックしてください。
- 少なくとも1つの所見が追加されている歯牙は、その輪郭が色付きで示されます。色は、所見の治療ステータスによって異なります。

治療ステータス	色	説明
状態	灰色	この所見は重大ではないものの、時間の経過に伴う変化を注意深く観察する必要があります。
治療計画	赤色	治療を必要とする所見です。
経過観察	オレンジ色	初期段階で発見された所見であり、経過観察が必要です。
完了済み	青色	この所見の治療は完了しました。

骨閾値の調整

骨閾値を調整するには、3Dビューアの(CB)CTデータを右クリックして、[骨閾値]を選択してください。スライダーを使用して希望する閾値を設定してください。

もしくは、スマートパネルの[ビューア]タブで、[3D表示閾値]スライダーを使用してください。

リスライスの調整

- リスライスを移動するには、リスライスラインをスクロールし、クリックしながらドラッグしてください。または、灰色のスライダーを右側に動かしてください。
- リスライスを回転させるには、リスライスの末端の1つをクリックしながらドラッグしてください。ビューア内でマウスをドラッグして、ビューアの中心点を軸にして画像データを回転させてください。
- リスライス位置が保存されます。
- デフォルトの位置に戻すには、リスライスビューアを右クリックし、[リスライス軸をリセット]を選択してください。

3Dボリュームのクリップ

スマートパネルの[3D患者]、[歯牙]、[3D検査]のワークスペースにおける[ビューア]タブで、[3D表示のクリップ]を選択して、3Dボリュームの一部を非表示にし、3Dボリュームの特定の領域をチェックすることができます。

ワークスペースで歯科用口腔内カメラを使用する

以下の手順により、USB歯科用口腔内カメラを口腔内カメラのワークスペース内で直接使用するか、別のワークスペース内から使用して、口腔内画像を取得できます。

1. [口腔内カメラ]ワークスペースタブをクリックするか、任意のワークスペースでスマートパネルの[カメラ]タブをクリックします。
2. 必要に応じて、カメラデバイスのタイルをクリックします。
3. デバイスのボタンを押して、画像を取得します。あるいは、下部にある[画像キャプチャ]をクリックします。

臨床写真ワークスペースで写真を編集する

変更する画像をダブルクリックしてください。

- 臨床写真を反転、回転、トリミング、または傾き補正するには、該当する写真を右クリックして対応する操作を選択してください。または、ワークスペースの左上隅にあるをクリックしてください。
- 同じ変更を他の画像にも適用するには、スマートパネルの[レイアウト]タブにあるミニマップ上で別の画像をクリックしてください。

インプラントワークスペースでインプラントオブジェクトを作成・変更する

- インプラントやアンカーピンのロック、回転の調整、オブジェクトの詳細の編集を行うには、いずれかのビューアでオブジェクトを右クリックし、対応するオプションを選択してください。

また、オブジェクトの詳細の編集、またはインプラント計画やアンカーピンのロックを行うには、スマートパネルの[インプラント計画]タブのタイルにカーソルを合わせて→をクリックしてください。詳細を編集するか、... をクリックして[ロック]を選択してください。

- インプラント計画を複製するには、スマートパネルの[インプラント計画]タブで、タイトルの横にある ... をクリックし、[複製]を選択してください。

ツール

ツールバーには、診断、測定、治療の計画、スキャンデータの編集を行うためのツールがあります。一部のワークスペースでは、特定のツールを使用できない場合があります。使用できないツールはグレー表示になっています。



警告

測定の精度は、画像データ、使用されるスキャナーのハードウェア、キャリブレーション設定および取得設定によって異なります。測定値の精度は、画像の解像度より高くなることはありません。DTX Studio Clinicソフトウェアでは、ユーザーが選択した小数点の一桁下で四捨五入した値が報告されます。

ツールバーのタブの1つをクリックすると、対応するツールに移動します。

[診断]タブ



3Dリスライスビューアのスライスの厚さを設定します。3Dリスライスビューアをクリックして水平方向にドラッグし、X線の厚さを設定してください。終了するには右クリックしてください。

注記

デフォルトのスライスの厚さを設定するには、DTX Studio Homeの設定またはDTX Studio Clinicの環境設定にある[画像設定]タブに移動してください。右上のドロップダウンメニューで、[3Dリスライス]、[パノラマ]、または[歯]を選択してください。[スライスの厚さ]ドロップダウンメニューで目的の厚さを選択してください。



明るさとコントラストを調整するには、ビューアを次のようにドラッグしてください。

- 水平：コントラストを変更。
- 垂直：明るさを変更。

注記

明るさとコントラストのツールをグレースケール画像で使用すると、それに応じてレベルとウィンドウの値が更新されます。



画像の特定の領域を拡大するか（デフォルト設定）、適用されたフィルタと元の画像を比較します。拡大レベルを調整するには、マイナスキーとプラスキー（macOSを使用する場合はShift + プラスキー）を使用してください。デフォルト設定を変更するには、DTX Studio Clinicの環境設定に移動してください。



3Dモデルをクリックするときに、ベースになるリスライスをチェックします。

- リスライスは、オーバーレイスライスのエクスポージャーウィンドウに表示されます。
- アクティブな画像フィルタとスライスの厚さは、スライスのエクスポージャービューにも適用されます。
- すべてのリスライスを確認するにはスクロールしてください。
- 3Dモデルは、ベースとなるリスライスをチェックしている間も回転可能です。

[診断]タブ

-
- 

スクリーンショットをキャプチャします。キャプチャしたスクリーンショットは、臨床写真のワークスペース、スマートパネルの[レイアウト]タブ、および患者データに追加されます。キャプチャしたスクリーンショットをレポートに追加することもできます ([ページ42ページを参照](#))。

 - 

スマートパネルの[所見]タブに所見を追加します。

 - 

気道を解析します。ランドマークを指定して、関心領域を囲むボックスを作成してください。[終了]をクリックしてください。気道の容積と最も狭窄している領域は、[3D患者]ワークスペースで視覚化されます。

 - 

神経管を指定します。最初のアンカーポイントをクリックしてください。次の各アンカーポイントをクリックしてください。終了するには右クリックしてください。

 - 神経管に関する注釈を調整するには、ビューアのアンカーポイントを動かしてください。
 - すべてのアンカーポイントは、スマートパネルの[注釈]タブに1本の線として表示されます。

 - 

3D患者ワークスペース（コロナル/サジタル/アキシャル）の任意のリスライスビューアでカスタムのリスライスラインを描画して、（CB）CTデータを詳細にチェックするカスタムのリスライスを作成します。たとえば、根管にマークを付けてチェックしたり、注釈を付けたりします。

 - カスタムのリスライスを移動するには、リスライスラインをクリックしながらドラッグしてください。
 - カスタムのリスライスを回転させるには、リスライスの終端の1つをクリックしながらドラッグしてください。

 - 

各根管の根尖に基準点を指定することで、**歯根形態**を定義します。

 1. スライスをスクロールして、最適な位置を見つけます。
注記
 必要に応じて、[水平]ビューアで歯の中心をクリックしながらドラッグすることで歯の中心を再指定してください。
 2. ビューアの1つで位置をクリックします。
 3. 根管の視覚化が[根管]ビューアにすぐに表示されます。
 4. 必要に応じて、[ポイントの追加]をクリックして新しい基準点を追加します。
 5. [終了]をクリックします。

[注釈]タブ

-
- 

画像にテキストを追加します。

 - 

ペンで、折れ線を描画します。すべての線は、スマートパネルの[注釈]タブに1つの注釈として表示されます。

 - 

鉛筆でフリーフォームの線を描画します。

[注釈]タブ

-  円を描画します。
-  矢印を描画します。
-  注釈の線の太さを選択します。

[測定]タブ

-  あるポイントのHU値を測定します。シーンの任意のポイントをクリックしてHU値またはグレー値を測定してください。
-  直線距離を測定します。距離を測定する2つの点をクリックしてください。画像のキャリブレーションがまだ済んでいない場合は、[参照値]を入力してください。キャリブレーションの測定がシーンに表示され、キャリブレーションオブジェクトがスマートパネルの[注釈]タブに追加されます。
測定値（およびその精度）が表示されます。
-  セグメントを測定します。最初のポイントをクリックしてください。次の各ポイントをクリックしてください。終了するには右クリックしてください。
-  角度を測定します。3つのポイントをクリックしてください。

[計画]タブ

このタブは、[インプラント]ワークスペースでのみ利用できます。

-  インプラントを配置します。このツールは、(CB) CTデータを含む任意のワークスペースで使用できます。
-  アンカーピンを追加します。
-  どのインプラントが配置可能かを管理します。
-  別のインプラント計画を追加します。完了したら、スマートパネルの[インプラント計画]タブでインプラント計画を切り替えます。

[3D X線]タブ

-  AIを利用したMagicAssist™アルゴリズムを使用して、(CB) CTデータと下顎神経に関する注釈を自動的にセットアップします。自動検出されたすべてのポイントは手動で調整できます。
自動検出された属性を含む3D X線データは、右下隅に[自動]ラベルで示されます。

[3D X線]タブ

 歯牙の位置を指定します。歯式チャートで、キャリブレーションする歯牙を選択してください。横断面リスライスの正しい位置に歯牙の表示をドラッグしてください。垂直リスライス上で、歯牙の軸を調整してください。

 OPG曲線を調整します。必要に応じて、ポイントや歯牙を指定してください。歯牙がはっきり表示されない場合は、スクロールするか、右側のグレーのスライダーを使用して、歯牙のセットアップを示す平面に横断面リスライスの位置を合わせてください（ほぼ咬合面に収束します）。

必要に応じて、以下のように曲線を調整してください。

- 曲線の形状を調整するには、個々のコントロールポイントをクリックしながらドラッグしてください。
- 新しいコントロールポイントを追加するには、曲線をクリックしてください。
- 完成した曲線を移動するには、周辺領域をクリックしながらドラッグしてください。

 患者モデルの方向を編集します。3D患者モデルの方向は、3Dビューアでモデルを平行移動して回転することによって目的の位置に設定することができます。

1. パンアイコン  または回転アイコン  をクリックするか、[Tab]キーを押して回転モードと平行移動モードを切り替えます。選択したモードは緑色で表示されます。
2. モデルをドラッグし、基準線と位置が正しく合うまで移動します。
3. [終了]をクリックします。

 患者モデルの余分な部分を切り取って、クリーンアップします。シーン内の任意のポイントをクリックして、削除する必要のあるセクションの周囲の描画を開始してください。確定するには右クリックしてください。

注記

元の患者モデルを復元するには、スマートパネルの[ビューア]タブで、[3D表示]の横にある ... をクリックしてください。[3Dモデルのリセット]を選択してください。

 TMJ領域を指定します。このウィザードに示されているように、顎頭の位置を示してください。[終了]をクリックしてください。TMJワークスペースが開きます。左右の顎頭の位置を比較して、顎関節領域をチェックしてください。

 OPGを生成します。パノラマ（リスライス）ビューは、2D画像として患者データに追加されます。生成された画像はOPGワークスペースで開かれます。

 インポートした3D X線データに基づいて、3Dセファログラムを生成します。

[口腔内スキャン]タブ



口腔内スキャンを自動的にセットアップします。



3D X線データ上の口腔内スキャンをアライメントまたは再アライメントします。



口腔内スキャンのワークスペースに現在表示されているすべての顎スキャンと診断スキャンの穴*を埋めます。小さい穴を埋めるか、すべての穴を埋めるかを選んでください。[穴を埋める]をクリックしてください。追加されたテクスチャは青色で示されます。

* Windowsのみ。



口腔内スキャンを比較して、歯肉退縮、歯の摩耗、その他の違いを追跡します。参照スキャンと比較する口腔内スキャンを選択してください。[終了]をクリックしてください。

デフォルトでは、色付きの距離マップが適用されます。互いにアライメントされた2つのスキャンを表示するには、スマートパネルの[ビューア]タブで、[オーバーレイ]を選択してください。比較を無効にするには、[スキャンの比較]をオフにしてください。

レポート

レポートの作成

所見を含むレポート、または患者に関連する文書のテンプレートとしてのレポートを作成するには、次の手順に従ってください。

1. DTX Studio Clinicで、患者メニューを開きます。
2. [エクスポート] ↑ をクリックし、[レポート]を選択します。
3. レポートテンプレートを選択します。
4. [レポートのエクスポート]をクリックします。
5. 該当するレポートが編集可能な.odt形式でエクスポートされ、デフォルトのテキストエディタ (Microsoft Office、LibreOffice、OpenOffice Writerなど) で開きます。
6. 必要に応じて変更を加えます。
7. レポートを保存します。

カスタムのプラクティスロゴの追加

デフォルトでは、DTX Studio Clinicのアイコンがレポートヘッダーに追加されます。カスタムのロゴを追加するには、次の手順に従ってください。

1. [DTX Studio Home **設定**]サイドバーで、[全般]をクリックします。
2. [参照]をクリックします。
3. 新しいロゴを選択します。
4. [開く]をクリックします。
5. [OK]をクリックします。

DTX Studio™ Implantを開く

DTX Studio™ ClinicとDTX Studio™ Implantを接続する

1. [DTX Studio Home **設定**]サイドバーで、[DTX Studio Implant]をクリックします。
2. [参照]をクリックして、コンピュータ上にあるDTX Studio Implantのインストール場所に移動します。

注記

患者データをDTX Studio Implantの患者記録に手動で追加する必要がある場合、つまり患者記録が既にDTX Studio Implantに存在している場合や、口腔内スキャンがDTX Studio Implantにエクスポートされているが3D X線データとアライメントされていない場合は、患者データの保存先を設定してください。

3. [OK]をクリックします。

DTX Studio™ Implantを起動する

1. 患者リストで患者記録を選択します。
注記
該当する患者には少なくとも1つの3D X線データが必要です。
2. [インプラント]  をクリックします。
3. [既存の患者を開く]または[新しい患者にエクスポート]を選択します。
4. 3D X線データが複数ある場合は、該当するタイルを選択します。
5. [エクスポート]をクリックします。
6. 正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
7. 患者記録が作成され、DTX Studio Implantに表示されます。

オーダーとパートナーの共同編集

手術計画、または補綴修復のオーダー

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [共同編集] ⇄ をクリックします。
3. [手術計画] 🗒️、または[補綴修復] 🦷 にカーソルを合わせます。
4. [選択] をクリックします。
5. 患者データを選択して、ラボまたは歯科医師に送信します。
6. [続ける] をクリックします。
7. オーダーのドラフトがDTX Studio Goに作成されます。欠損データを追加し、オーダーを接続されたラボまたは歯科医師に送信します。
8. サイドバーの[オーダー] 📄 をクリックし、すべてのオーダーを表示します。

注記

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。ご了承ください。

パートナーとの接続のセットアップ

一部の他社パートナーは、DTX Studio Clinicに直接統合されたサービスを提供できます。オーダーをDTX Studio Clinicで作成し、パートナーのフレームワークに送信できます。

お住まいの地域でサービスプロバイダーを利用できる場合は、DTX Studio Goでパートナーアカウントを接続することから始めてください。

1. [共同編集] ⇄ をクリックします。
2. パートナー名にカーソルを合わせて[セットアップ]を選択します。
3. [続ける] をクリックします。
4. DTX Studio Goの指示に従って接続を完了します。

パートナーからの直接オーダー

パートナーアカウントがDTX Studio Goに接続されると、パートナーのサービスを利用できるようになります。

1. [共同編集] ⇄ をクリックします。
2. パートナー名にカーソルを合わせて[選択]をクリックします。
3. 送信する患者データを選択します。
4. [続ける] をクリックします。
5. ファイルがアップロードされます。
6. パートナーのWebサイトでオーダープロセスを続行します。
7. 送信が完了すると、該当するオーダーが患者記録の[オーダー]の概要に追加されます。

パートナーの症例の表示または新しいデータの追加

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [オーダー]タブをクリックします。
 - パートナーのWebサイトで症例を開くには、[症例の表示]をクリックしてください。
 - 症例に新しいデータを送信するには、[新しいデータを追加]をクリックしてください。

SUPERSEDED



Nobel Biocare AB
Box 5190, 402 26
Västra Hamngatan 1,
411 17 Göteborg,
Sweden

www.nobelbiocare.com

オーストラリアの配布元：

Nobel Biocare Australia Pty Ltd
Level 4/7 Eden Park Drive
Macquarie Park, NSW 2114
Australia

電話：+61 1800 804 597

ニュージーランドの配布元：

Nobel Biocare New Zealand Ltd
33 Spartan Road
Takanini, Auckland, 2105
New Zealand

電話：+64 0800 441 657

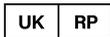
トルコの配布元：

EOT Dental
Sağlık Ürünleri ve Dış Ticaret A.Ş.
Nispetiye Mah. Aytar Cad.
Metro İş Merkezi No: 10/7
Beşiktaş İSTANBUL
電話：+90 2123614901



CH輸入業者/正規代理店：

Nobel Biocare Services AG
Balz Zimmermann-Strasse 7
8302 Kloten
Switzerland



UK責任者：

Nobel Biocare UK Ltd.
4 Longwalk Road
Stockley Park
Uxbridge UB11 1FE
United Kingdom



ifu.dtxstudio.com/symbolglossary
ifu.dtxstudio.com